

基礎セミナー

「Comeback」を究める



「Comeback」の概要

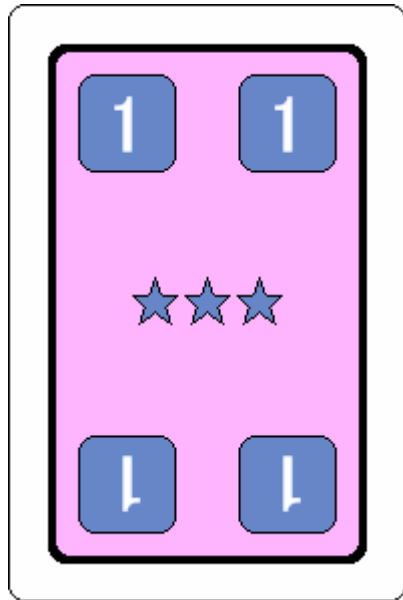
- 発売年： 1996年
- デザイナー： Reinhard Staupe
- メーカー： Staupe Spiele
- プレイ人数： 2～4人
- 対象年齢： 9歳以上
- プレイ時間： 10～20分
- とてもシンプルな競りのゲーム



ゲームの目的

- 最初に各プレイヤーには、カード購入のため資本として150ポイントが与えられます。
- プレイ中は、その資本でカードを購入していきます。
- ゲームが終了した時点で、残った資本と、獲得したカードのポイントを合計し、その合計が一番高いプレイヤーが勝者となります。

カードの種類



例: 青色の1のカード

- 赤、青、緑、青の4色
- 各色1~7の数字が一枚ずつ
- 1のカードには星が3つ
- 2のカードには星が2つ
- それ以外のカードには星が1つ
- 全部で28枚



ゲームの準備(4人の場合)

- 記録係を決める。
- 記録係は下記のような表を作り全プレイヤーの資本金を記録する。

例:

プレイヤーA	プレイヤーB	プレイヤーC	プレイヤーD
150	150	150	150
123(-27)	131(-19)	125(-25)	119(-31)
	105(-26)		94(-25)
	82(-23)		

- 24枚のカードをよく混ぜてから裏向きにして山にする。
- 残りのカードは今回のゲームでは使用しないので脇に置いておく。



ゲームの進め方

- まず、最も若いプレイヤーが山札の一番上のカードをめくり、必ずせり値を付ける。このせり値は1ポイント以上であればいくらでもよい。
- 順番は時計回りで、次のプレイヤーはせり値を上げるかパスするかを選ぶ。
- せり値を上げる場合は、少なくともめくられたカードの数字以上、上げなければならない。



ゲームの進め方(続き)

- この手順を一人を除いて全プレイヤーがパスするまで続ける。
- 最高値を付けたプレイヤーが、そのカードを受け取り、記録係がせり値分だけそのプレイヤーの資本金から引く。
- カードを獲得したプレイヤーが、次のカードをめくり、最初のせり値を付け、同じ手順で全てのカードがなくなるまで続ける。

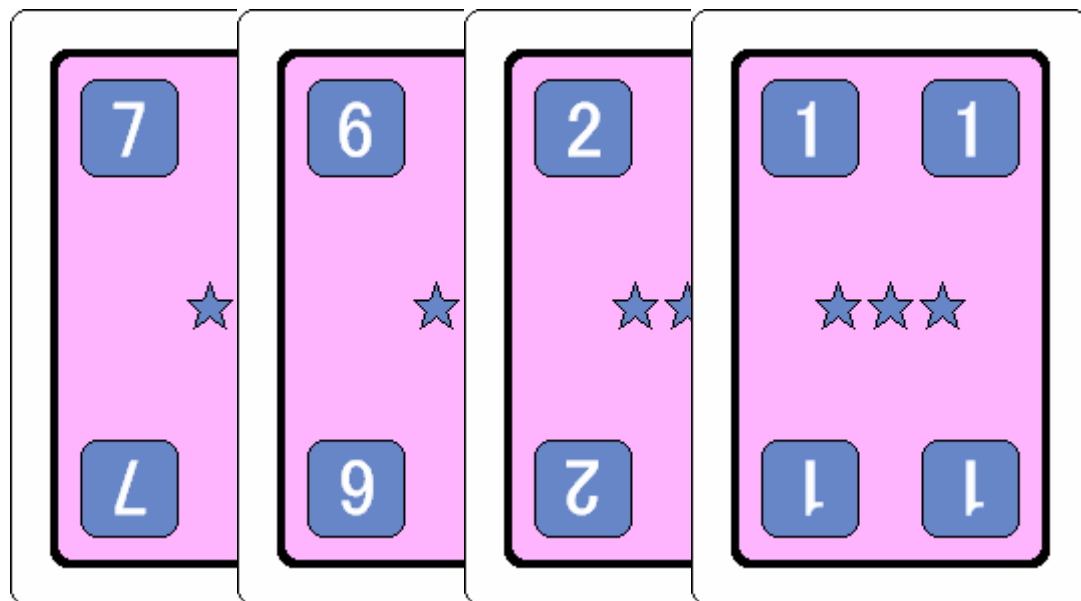


ポイント計算方法

- まず、同じ色のカードの数値を合計し、
その数値に星の数の合計値をかける。
- 上記の計算を各色毎に行う。
- 4色のカードのポイントと、資本金の残りポイントを合計したものがそのプレイヤーの最終的なポイントとなる。

ポイント計算方法(具体例)

例えば、Aがこの4枚のカードを90ポイントで購入したとすると



青い数値の合計
 $16(1+2+6+7)$

青い星の数
 $7(3+2+1+1)$

青いカードによるポイント
 $16 \times 7 = 112$ ポイント

プレイヤーAのポイントは $(150 - 90) + 112 = 172$ ポイント
となる。

資本金の残りポイント カードによる獲得ポイント



注意点

- めくられたカードに付けることが出来るポイントは、その時点でそのプレイヤーが持っている資本の残りのポイントが上限となる。



勝利への近道

- 同じ色のカードを集める(星の数が多い1や2のカードを含むようにする)。
- 使用されることのない4枚カードがあるということ覚えておく。
- 自分は欲しいカードをいかに安く競り落とし、他プレイヤーにはいかに高く競り落とさせるかがポイント。